

平成28年度第2回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 平成28年8月22日（月）午後10時～12時

場 所： 市役所第2庁舎3階306会議室

出席委員：

新保國弘会長、金森有子委員、朽津和幸委員、和田まつゑ委員
佐藤明委員、秋元五郎委員、中大路早智江委員、中村貴代美委員
事務局（環境政策・放射能対策課）：

古川環境部長、染谷環環境部次長兼環境政策・放射能対策課長
糸井クリーンセンター所長、樋口環境政策・放射能対策課長補佐
遠藤環境政策係長、川上主事

傍聴者：0名

議 題：

- 1 流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 2 流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画について
- 3 その他

資 料：

資料1：流山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案

資料2：第1回審議会意見まとめ

資料3：流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画素案

資料4：第1回審議会、水勉強会意見まとめ

発言者	要旨
(議題1) 流山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について	
～事務局より地球温暖化対策実行計画素案について説明～	
中大路委員	見える化というのは正しい用語なのか。
事務局	一般的ではないかもしれないが、地球温暖化対策の中ではこのような表記をしている。
佐藤委員	熱帯夜や猛暑日の統計はすぐに得られるのか。得られるのであれば、近年の傾向を出すことはできるか。
事務局	近年に限れば得ることは可能であると思われる。
朽津委員	気温について、もう少し長いスパンの統計は得ることが可能か。二酸化炭素濃度の統計についても、流山市の統計を入手することができるか。
新保会長	二酸化炭素濃度は気象庁が観測している。また、気温データは出典を明記してほしい。流山市制定の昭和42年まで遡るデータがあるとよいが。
事務局	二酸化炭素については、流山市では測定しておらず、どこのデータを入手可能か調査する。気温について流山市のデータをどこまで遡ることができるかについても調査する。
金森委員	10ページのCO2が小文字になっている。また、グラフの単位が途中で消えているので修正すべき。
新保会長	5ページの年度について、半角で統一を。
事務局	修正する。
朽津委員	施策効果について、各項目がどの程度効果があるのか個別に示してほしい。具体的には重点施策②の太陽光と太陽熱の効果を分けるべき。また、重点施策⑤に目標が書いてないが、なんらかの形で書くことが可能か。
佐藤委員	森林はあっても、古い森林では吸収効果について書くことが難しい。計算するとかなり小さくなってしまう可能性がある。

新保会長	日影ができるなど、市民目線の森の良さを上げてほしい。
事務局	重点施策2に関しては分けることが可能。但し、太陽熱温水器は小さい値になる。廃棄物に関しては分けることが難しい。表記については考慮する。
新保会長	表記項目に関しては、事務局の方で修正してほしい。大きな修正はないようなので、可能な限り書き加えてもらい、修正をした上での条件付きの承認としてよろしいか
	(意義なしの声)
～事務局より今後のスケジュールについて説明～	
(議題2) 流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画について	
～事務局より流山市第Ⅲ期生活排水対策推進計画について説明～	
朽津委員	25ページの表について、SSやDOの単語の意味をつけること、現在の値と環境基準、2つに単位を渡らせる等の修正が必要。
新保会長	河川の親水公園では糞便性大腸菌群が指標となっている。したがって運河水辺公園などは今後検討の要あり。 75%値と平均値の扱いは、メリハリをつけて記述してほしい。
事務局	修正する。
中大路委員	大腸菌群について、目標5000に対し、運河(合流前)では35万という数値になっている。市として何か行えることはあるのか。
事務局	市としても、具体的な対策について検討している。今はどういったことができるのか調査している段階。
金森委員	最初に管理指標の変更が来ていることに違和感がある。先に流山市の河川の状況について書くべきでは。
新保会長	生活排水対策には、流域の概念が必須。用語についての説明も必要。例えば、下水道普及率、水洗化率について、何が分母で何が分子であるか記載すべき。更に、清流ルネッサンスでは水質の目標値を掲げているため、それを記載してほしい。
事務局	修正する。

新保会長	利根川から導水していることもあるため、利根川の類型がいつ決められたのかも記述してほしい。また、流山市の自主基準について、いつだれが決めたのか調査が必要。
事務局	調査する。
佐藤委員	酸素を入れることによって浄化する手段について聞いているが、利根運河での導入はできるのか。
新保会長	水質の改善には必ずしも繋がらないのではないか。
新保会長	できれば流域ごとに下水道人口、浄化槽人口、汲み取り人口についてまとめてほしい。利根運河だけでなく、いずれの河川でも流域という概念が第一要件と思う。そのあたりを確認してほしい。
事務局	第Ⅰ期、第Ⅱ期計画では潤沢な資金があったため、流域を調べていた。第Ⅲ期計画でも何らかの形で出したいと考えている。合併浄化槽、単独浄化槽の数についても、推定では出しているため、その数値を計画に入れるべきか検討したい。
中大路委員	高圧洗浄を行って排水管をきれいにしても、それによって汚染された水がどの河川に向かっているということを考える必要がある。
佐藤委員	終末処理場がどこにあるかについても記載する必要がある。
事務局	記載する。
新保会長	3ページに測定地点を書いている表があるが、それを1ページ程度に拡大し、アバウトでよいので流域図を記載すべき。県知事の文書には、生活排水対策は下水道処理区域は除くとあるが、これもきちんと説明してほしい。
新保会長	意見が収束したとは言えないため、事務局の方で、どのような対応ができるか教えて頂きたい。
事務局	第3回審議会を、9月29日か30日に行わせていただきたい。
(議題4) その他	
事務局	生活排水対策計画については、意見がある場合1週間後

	の 8 月 2 9 日（月）までに意見を寄せて欲しい。
～ 第 3 回 審 議 会 に つ い て は 9 月 2 9 日（木） 1 0 時 と し た ～	